



練馬区体育協会 ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

創立 昭和24年10月(1949)

第30号

発行 昭和60年 5月10日



スポーツ合同葬にて挨拶する田畑区長

練馬区体育協会会長
東京都バドミントン協会会長
故 小口政雄先生スポーツ合同葬

今はなき小口会長を偲び
全加盟団体五〇〇名が参列
盛大に挙行される

四月二十一日、午後一時よりスポーツ合同葬は練馬区江古田の助葬会
斎場に於て、区体協並に東バド協の主権により、しめやかなうちにも盛
大に挙行された。

- | | | |
|---------------------|------------------------|--------|
| 同 葬儀委員長 | 練馬区長 | 田畑健介 |
| 同 副委員長 | 練馬区教育委員会教育長 | 岩波三郎 |
| 同 | 練馬区体育協会副会長 | 奥田真輔 |
| 同 | 練馬区体育協会副会長 | 榎本松次 |
| 同 | 会長代表 | |
| 同 | 東京都バドミントン協会
会長代行 | 玉手庸 |
| 同 | 練馬区体育協会会長代行 | 奥山則男 |
| 同 | 練馬区体育協会理事長 | 野口嘉郎 |
| 同 | 東京都バドミントン協会
理事長 | 浅岡武 |
| 同 | 練馬区体育協会
東京都バドミントン協会 | 加盟団体代表 |
| 同 | 加盟団体代表 | 野口嘉郎 |
| 同 | 司会 | 野口嘉郎 |
| 同 | 岩波三郎 | |
| 一、故 小口政雄先生ご遺骨入場 | | |
| 二、開式の辞 | | |
| 三、黙とう | | |
| 四、故人の声 | | |
| 五、弔辞 | | |
| 1 練馬区長 | 田畑健介 | |
| 2 練馬区議会議長 | 上野定雄 | |
| 3 練馬区体育協会会長代行 | 奥山則男 | |
| 4 東京都バドミントン協会会長代行 | 玉手庸 | |
| 5 練馬区バドミントン協会
代表 | 貫井武夫 | |
| 六、弔詞 | | |
| 七、献花(遺族・ご指名の方) | | |
| 八、葬儀委員長挨拶 | 練馬区長 | 田畑健介 |
| 九、遺族代表挨拶 | 小口健弘 | |
| 十、献花(一般参列者) | | |
| 十一、閉式の辞 | 浅岡武 | |

前日の雨もすっかりあがり、ふりそそぐ陽光に新緑の樹々も美しくスポーツ葬にふさわしい日となりました。

白菊の花にかこまれた小口会長の遺影の前に

「正六位、勲四等・瑞宝章」がひときり輝いていたのが印象的でした。

参列の体協三十一団体代表・並に東京バドミントン協会代表、一人一人が白菊の花を捧げもちる祭壇前に深く頭をたれ冥福を祈るとき脳裏には小口会長との想い出が浮んで来たことでしょう。

なんとしても我々の手によって、小口会長の「葬儀を」と願ひ、唯ひたすらそれだけを考えて来た私達としてその願望を成しとげたことは今迄心の奥につまっていたものが眷光とともにとげ、さすがにいい心となる事が出来ました。

練馬区に於ける三十八年の区政史上を省いても小口会長ほど美しい人生を送りえたスポーツ人はないでしょう。

多くの人の努力の結集がこのスポーツ合同葬によって立派に表現されました。

紙上より、尽力下された多くの方々並にご参りいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

小口政雄会長を偲ぶ

理事長、野口 嘉郎

昭和六十年三月九日

午後八時二十分、練馬病院にて心不全のため死去、八十六才。我が父、「小口政雄会長」は、昭和二十四年、練馬区体育協会を創立、初代会長に就任、今日までの三十六年間、十八期の永きにわたって会長職につかれました。

この大きな足跡をふりかえります時々、人格、情熱は勿論のことですが、その因は人の輪を大切にしていたことにあると思います。部体協、日本バドミントン・東京バドミントン協会と多くの要職にありましたが、最も愛し、その生きがいであったのは練馬体協にあったと願います。

又、その中であって、○東京オリンピック ○スポーツ功労者としての授勲 ○体協創立三十周年式典 は、大きな節目となり、小口会長

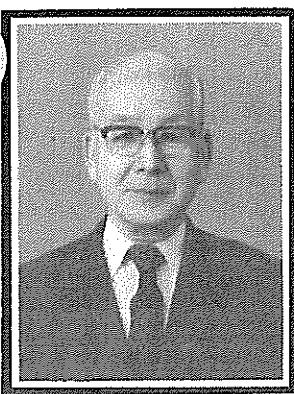
の晴れの舞台でありました。もう一つの願望は、

◎本体協の財団法人化でした。確固たる位置づけを、会長自らの手で達成したかったと思います。法人化にむかって二年を経過、あと三年で達成と云う悲願半ばであったことが唯一つの心残りと言えましょう。

我々は小口会長の残された多くの教訓を心にとめ、練馬体協の歴史づくりに、その遺志をついで、尚たくましい前進をつづけねばなりません。

十数年間、もっとも近い所で、指示をつけ体協の執行の任にあたって来た私としても、まさかこのような結果になるとは考えていませんでした。入院より約一ヶ月半、あまりにあっけなく、悔まれてなりません。

この間、五・六回病床を訪ねお見舞いしたものの必ずもう一度お元



故 小口政雄会長

気になられるものと考え、お聞はずきいづつかの心を残してしまいました。

しかし私は、八十才の高令の会長をさきえ、精一杯つかえ、その期待にこたえたと自負しており、悔のない十年間でした。

我々は又、スポーツ合同葬を立案に突進したことにより、小口会長も泉下でお喜び下さったことと思えます。

「あのやさしい笑顔」を再び見ることは出来ません。しかし我々二十七団体の多くの人々の心の中に小口会長は立派に生きております。長い間、本当に有難うございました。安らかにご永眠下さい。

小口会長 区体協・関係略歴

昭和十四年四月 練馬区軟式野球連盟会長。(現在に至る)

昭和十六年三月 練馬区軟式野球連盟会長。(昭和二十六年四月迄)

昭和二十二年四月 練馬区柔道会会長。(昭和五十六年三月迄)

昭和二十四年四月 練馬区体育協会会長。(現在に至る)

昭和三十九年九月 練馬区バドミントン協会会長。(現在に至る)

昭和四十年十一月 練馬区バレーボール連盟会長(昭和五十四年三月迄)

<p>中央信用金庫・江古田支店 練馬区旭丘1-27 TEL (952) 1236-9</p>	<p>巢鴨信用金庫江古田支店 練馬区旭丘1-55 TEL (951) 1121 (代表)</p>
--	--

第三十七回練馬区民体育大会

参加二二、〇〇〇名

冬季競技をもって終了

バスケット競技

区立総合体育館、他

九月十五日、十六日、二十三日

二十四日、三十日

十月十四日、二十一日

参加 一二二五名

◎一般男子 二十二チーム

優勝 フェンサーズ

二位 ファンデンス

三位 サンライズ

三位 NUC

◎一般女子 十チーム

優勝 井草高校OB

二位 レディースフェサース

三位 高松会

三位 オリープ

◎中学男子 二十六チーム

優勝 上石神井中

二位 石神井西中

三位 谷原中

三位 練馬中

◎中学女子 二十五チーム

優勝 石神井西中

二位 豊浜中

三位 上石神井中

三位 練馬東中

卓球競技

区立総合体育館

十二月二日、九日

参加 五八八名

◎中学男子

- 1 藤崎(練馬東中)
- 2 三上(上石神井中)
- 3 頼所(練馬東中)
- 4 高久(練馬東中)

◎中学女子

- 1 川島(練馬東中)
- 2 篠(開進二中)
- 3 小野(練馬東中)
- 青木(貫井中)

◎一般男子

- 1 渡辺(貫井クラブ)
- 2 吉田(フライデー)
- 3 高橋(フライデー)
- 山本(練馬消防)

◎一般女子

- 1 俵山(フライデー)
- 2 田中(フライデー)
- 3 大場(フライデー)
- 青木(はやぶさ)

◎男子三〇代

- 1 福島(三栄信用)
- 2 北野(卓進クラブ)
- 3 大島(ホワイドベース)
- 井沢(卓進クラブ)

◎女子三〇代

- 1 太田(旭町)
- 2 千本(北町)
- 3 初田(石原クラブ)
- 富樫(はやぶさ)

◎男子四〇代

- 1 小川(フライデー)

- 2 尾方(中村南)
- 3 寺崎(T・K)
- 田中(T・K)

◎女子四〇代

- 1 山地(豊玉上)
- 2 広川(はやぶさ)
- 3 稲葉(南大泉)
- 金井(Zクラブ)

◎男子五〇代

- 1 田中(T・K)
- 2 高橋(T・K)
- 3 松島(日進交通)
- 上野(フライデー)

◎女子五〇代

- 1 宮原(木曜会)
- 2 東宮(Zクラブ)
- 3 高柳(ジョーカーズ)
- 藁品(向山クラブ)

後記

十二月に入つての区民大会は、役員にとつて寒さがひびき大変でした。今後は日程について考慮をお願いする次第です。

スケート競技

十一月十八日 シチズンリンク

一月二十日 赤城山・大沼

参加 フィギュア 七〇名

スピード 六〇名

◎フィギュア一部 一般の部

- 1 飯沢剛智(旭匠)
- 2 丹沢 泉(豊玉中)
- 3 遠藤 彩(大泉学園)
- ◎フィギュア一部 少年の部
- 1 須藤麻紀(大泉タック)

- 2 柴田みどり(大泉タック)
- 3 三浦寿友(大泉タック)
- ◎フィギュア二部、一般の部
- 1 戸田由紀夫(上支田)
- 2 富樫秀子(向山)
- 3 中島豊子(向山)

◎フィギュア二部、少年の部

- 1 田中 泉
- 2 桑本佳子
- 3 川島進吾

◎スピード一般、五〇〇米

- 1 佐藤康夫 五八秒六四
- 2 佐藤 勝 一分四〇秒四〇
- 3 石嶋宗作 二分二〇秒三一

◎スピード少年 四〇〇米

- 1 鳴 麻美 一分一〇秒〇
- 2 吉川 輝 一分一八秒七二
- 3 稲葉英明 一分三八秒九二

◎スピード初心者一般一〇〇米

- 1 石井弘子 二三秒八
- 2 石塚昭二 二五秒五
- 3 浜本愛子 三〇秒六

◎スピード初心者少年一〇〇米

- 1 浜本良一 一七秒一
- 2 千代高史 一八秒七
- 3 伊藤 修 二〇秒五

後記

フィギュア 行木康雄
営業リンクのせまいスペースでの競争なのに、フリーは選手に気の毒だった。二部は出場選手が多く時間中の消化に気をつかった。次回は教室最終日でなく、新に大会日を設けるべく考えてほしい。

スピード 藤島教丈

東京電力株式会社
練馬支店
練馬区中村北1-12-7
TEL 926-6111

メコスポーツ
塩田典男
石神井町3-17-10
TEL 995-1851

快晴微風の上氷質も良く、参加者は口々に来年も又参加したいと大興奮でした。

大会はレギュラーが他の大会に出場したため、記録は悪く収獲はなかった。しかしこの初心者教室から育った四名の選手が、この日「インターハイ」に出場したことは特筆すべきことだと思います。

スキー競技

二月十一日

長野県 木島平スキー場

参加 一二三名

●男子一部 大回艇競技

- 1 柏倉光夫 四八秒三八
- 2 稲葉弘幸 四九秒〇七
- 3 中山敏郎 四九秒五一

●男子二部

- 1 大倉英一 四九秒三五
- 2 小川清一 五二秒八二
- 3 橋本透 五三秒九七

●男子三部

- 1 和泉清作 五一秒八四
- 2 勝田昌利 六〇秒六九

●男子四部

- 1 田村武紀 一分〇七秒一六
- 2 杉浦俊雄 一分一秒五四
- 3 河端敏雄 一分一八秒一七

●女子一部

- 1 西野徳光 五一秒七八
- 2 高見沢尚代 五四秒五六
- 3 稲葉智子 五八秒九九

●女子二部

- 1 山田弘子 五五秒七九
- 2 井出喜和子 六二秒二八

3 青木みどり
●女子三部

- 1 内田孝子 一分〇二秒四二
- 2 望月徳子 一分一〇秒三二
- 3 菅方多智子 一分二四秒一〇

●初級、一部

- 1 佐藤真由美 一一秒八
- 2 大畑立子 一二秒二
- 3 飯田明 一二秒八

●初心、二部

- 1 小林昌之 一三秒五
- 2 中畑裕子 一四秒三
- 3 山本治代 一五秒九

練馬区体育協会・事務局移転
四月一日より、区役所庁舎、教育委員会、社会体育課中にある、事務局は左記に移転しましたのでお知らせいたします。

〒一七七

練馬区谷原一丁目七番五号

区立総合体育館内

TEL 九九五二八〇五七七

月曜日 休局日
火曜日 在局 野口、天野
水曜日 在局 天野
木曜日 在局 野口、天野
金曜日 在局 天野
土曜日 休局日

区バドミントン協会 貫井武夫会長

藍綬褒賞授賞祝賀会

椿山荘に於て盛大に開催

三月二十六日、授賞祝賀会は都、椿山荘に於て盛大に行われた。区、業界並に、体協、区バド協等 区バド協は貫井武夫代行を四月二十一日正式に会長推戴を決定した。



祝賀会での貫井夫妻

会計、税務・経営相談の事なら

宍戸正治税理士事務所

練馬区石神井町3-30-29

TEL 995-6311

練馬区自転車連盟

白井 滋 齊藤善治
高村精一

第三回光が丘ロードレース大会

参加一都二府十一県

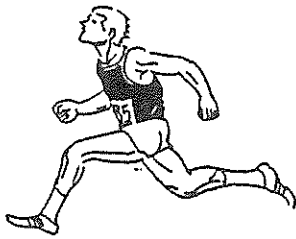
一、一五〇名
好天に恵まれ、大会新続出



成人10kmロードレース

- 主催 練馬区 体育協会
共催 練馬区 教育委員会
主管 練馬区 陸上競技協会
- ◎男子三十才未満一〇km
優勝 山本吉信(三和銀行)
三十二分三十四秒
- 二位 和久井岩夫(高島平走友会)
三十三分三十三秒
- 三位 関根義夫(明治学院AC)
- ◎男子三十才一〇km
優勝 渡辺正美(岡田タイヤ)
三十分五十四秒(大会新)
- 二位 林 正敬(わかさクラブ)
三位 鷲山雄次郎(全日本走友会)
- ◎男子四十才代一〇km
優勝 小山 彰(所沢走友会)
三十三分三十六秒
- 二位 横尾賢一(朝霞陸協)
三位 高木 清(ツシワ走友会)

- ◎男子五〇才以上一〇km
優勝 村木 勝(埼玉県)
三十六分三十三秒
- 二位 加藤清作(邑楽町クラブ)
三位 南 京(小平市)
- ◎女子四〇才未満一〇km
優勝 平田直子(武蔵野高校)
三十八分十四秒(大会新)
- 二位 有松洋子(日電二俣)
三位 鈴木愛子(不忍池AC)
- ◎女子四〇才以上一〇km
優勝 田中千枝子(練馬区)
四十三分〇五秒(大会新)
- 二位 生形てる子(東村山諏訪走会)
- ◎男子四〇才未満5km
優勝 加藤人望和(法政大学)
十五分四十三秒(大会新)
- 二位 伊藤寛和(多古町農協)
三位 坂元謙次(文部省走友会)
- ◎男子四〇才代5km
優勝 保坂 栄(東京消防庁)
十六分〇九秒
- 二位 出戸一徳(新小岩教習所)
三位 磯端克明(妙正寺公園JC)
- ◎男子五十才代5km
優勝 畠中 宏(航空自衛隊市谷)
十七分二十六秒(大会新)
- 二位 小林皓志(共栄)
三位 三浦国友(都庁COB)
- ◎男子六〇才以上5km
優勝 西村由蔵(京都八清クラブ)
十八分〇五秒(大会新)
- 二位 圓谷一雄(白建設計)
- 三位 小林幸光(富士見好走)
◎女子四〇才未満5km
優勝 西郷葉月(石神井AC)
十九分〇二秒(大会新)
- 二位 江原さおり(武蔵野高校)
三位 川崎紀子(町田いだ夫)
- ◎女子四〇才以上5km
優勝 菅原真澄(城北クラブ)
二十一分二十二秒(大会新)
- 二位 田中麗子(妙正寺公園AC)
三位 平田トシ子(妙正寺公園AC)
- 練馬の光が丘公園、区のPR、メソントとしての一役をになう本大会も、近頃はもとより遠く、岡山、京都からの多勢の参加を得て、いよいよ脚光をあびて、すばらしい大会に成長したことは、誠によろこばしい、心から関係団体の皆様に感謝を申し上げます。ことに、六〇年度は選手の方々のために是非とも光が丘公園外周道路において盛大に開催すべく、目下所轄等に申請中、絶大な声援ご協力をお願いします。 天野



さくま商事 (株)

練馬区北町3-20-6

TEL 931-3201 (代表)

但島建設 (株)

練馬区豊玉上2-25

TEL 948-7111

昭和六〇年練馬区体育協会
関係者合同新年会

加盟二十七団体三十二競技

参加 一八〇名

法人化基金・三十四万円獲得

体協、恒例の合同新年会は、二月二日(七)午後六時より豊島園ポッポに於て、区教育委員会、各競技団体会長等の来賓をむかえ盛大に開催された。

午後六時
天野総務部長の司会で閉会



オクションで頑張る本間事業部長

一部

開会のことは 野口理事長
主催者挨拶 奥山副会長

※ 小口会長欠席のため代理
祝辞 区教育委員会
横山次長

乾杯 奥田副会長
挨拶 矢崎会長代表

この後、しばらくの間、懇談
二部(カラオケ大会)

担当、富田、森野常任理事
○練馬少年野球 白沢 聡
○女子ソフト 江田、脇屋

○石泉少年野球 迎 勝義
○なぎなた 佐藤充香
○ネットボール 有田昭弘

○ゲスト
教育委員会 金子伸一

柔道会 塩沢 登
水泳連盟 上野定雄

時間の関係から、本年は五団体よりの代表と、ゲスト三名の八名を指定した。団体を代表だけにその歌声のすばらしさは、いずれあやめか、かきつばた、美声の競演となり、会場は大いに盛りあがった。終了後、出場者に対し、野口理事長より参加賞が授与された。

三部(オクション大会)
担当 本間、他十名
参加者全員から持ちこたれた品物は三つの机に山ごつまれ、短時間の中に果してさばられるのか、頭初から嬉しい悲鳴となった。
本間事業部長のかけ声の中に、会

計担当(高城、石川、今来、古屋)の女子役員、集金、受渡し担当に男子役員六名が配置について、プレポールノ

場内にひびく声に、品ごとしょくくとユーモアを入れての本間部長のさばきに、場内の雰囲気は最高調に達した。

市価の約1/2で買った、売ったと次から次と手ぎわよくさばかれたものの、一時間三〇分では、予定の九時を十五分オーバーしてようやく完売となった。

●今年の人気ベストファイブ

- 1 ローラスケート 五台
- 2 二十八ヶ国の外国切手
- 3 ダンヒール、バック
- 4 世界時間、時計
- 5 スコッチ、ウイスキー

売上金 二〇三、〇〇〇円
万才三唱 榎本副会長
閉会のことは 井口本部長
後半は、寺崎副理事長の司会にスムーズに進行、午後九時二十分、盛會裡に閉会となった。

会費、祝儀、オクション収入等の総計の結果
新年会、利益金、合計 三三四、八二〇円
※ 体協法人化基金として繰入
後記
年々大きく成長する練馬体協の姿、そのものを物語るこの新年会も、準備委員会を編成しての大工

共栄信用金庫

本店 練馬区豊玉北6-5 TEL 993-4311

支店 豊玉 江古田 北町 鷲宮 大泉 保谷
蓮根 清瀬 氷川台 新座 大泉南口

東京ガス(株)

東京北支店

練馬区錦2-18-15
TEL 934-5131

ヘンソウになった。

参加者も年々増加の一途をたどり、来年はいよいよ二〇〇名の大台を越えることが考えられる。

一部、二部、三部と担当した役員は、席にひく間も、喉をうるおす間も、ご馳走を食べる間もなく、この三時間、本当に汗を流して頑張った。

第四回練馬区スポーツ団柔道大会

二月十一日

区立総合体育館、柔道場
主催 区スポーツ少年団
練馬区 柔道会
練馬区教育委員会
練馬区体育協会

- 〇一年の部
- 1 田中康弘(鍛守)
 - 2 新井祐治(学園武)
 - 3 内海 裕(明德館)
- 〇二年の部
- 1 古尾太一(鍛守)



各クラスの入賞者

下さった。

体協を代表して紙上下り厚くお礼申し上げます。

又、会場、豊島園の側面からのご協力にもお礼申し上げます。

理事長 野口嘉郎

- 〇三年の部
- 2 酒井健一(鍛守)
 - 1 新井和彦(学園武)

- 2 窪田豊彦(総合体)
- 3 高橋英康(学園武)

〇四年の部

- 1 渡辺隆雄(上石小)
- 2 大山秀康(明德館)
- 3 落合青史(練警)

猪爪克次(明德館)

〇五年の部

- 1 田中 順(学園武)
- 2 朝田剛史(明德館)
- 3 山本 享(学園武)

〇六年の部

- 1 梶 信一(練警)
- 2 鈴木正雄(鍛守)
- 3 加藤準平(練警)

土肥 守

少年サッカー後期リーグ戦

区民体育大会に引きつづき、後期リーグ戦を実施しましたところ42チームの参加となり、1部を2ブロック16チーム、2部を4ブロック26チームに分けてリーグ戦を行い、各ブロックの上位2チームによる決勝トーナメント戦によって、1部・2部それぞれの順位決定を行いました。

今年は大候に恵まれ、比較的順調に大会消化ができました。年々盛んな大会となり、全体のレベルもあがってきております。1部リーグは立野グリーンズと豊玉スポーツ少年団が1・2位となりましたが、光和イレブン及び豊南サッカークラブの活躍も見事でした。2部リーグは石神井台小サッカークラブが優勝し、2位は上石神井小サッカークラブでした。

1部リーグ成績

- 優勝 立野グリーンズ
- 2位 豊玉スポーツ少年団
 - 3位 光和イレブン
 - 4位 豊南サッカークラブ

2部リーグ

- 優勝 石神井台小サッカークラブ
- 2位 上石神井小サッカークラブ
 - 3位 仲町フットボールクラブ
 - 4位 大四小サッカー部

本間弘一



スポーツ用品

(株) ミ ッ キ ー

練馬区東大泉 6 - 50 - 7

TEL 924-2074

アサヒ弓具工業 (株)

豊島区南大塚 2 - 23 - 3

TEL 986-2301
986-2302

第六回練馬区ネットボール選手権大会

豊玉東わが完全優勝

一部、二十三チーム

二部 二十五チームが参加

女子のお祭り「桃の節句」の三月三日、第六回練馬区ネットボール選手権大会が練馬区立総合体育館で行われました。参加チームは前回よりさらに増加し、二十三校四十八チームで、実力も伯仲、好試合が展開されました。この大会で、豊玉東小のキングアタッカーズAチームは、見事優勝、二部でもBチームが優勝して完全優勝を飾りました。



「初出場四校を加え

友情の輪拡がる」

まず本大会に先立ち、二月二十四日に二部の予選が旭丘、小竹両会場で行われました。会場が分かれる事で、当初本部や審判団の手薄が懸念されましたが、両会場とも何のトラブルもなく和気あいあいで行進し、協会の層が厚くなった事を実感させられました。両会場の世話人の方々には心から感謝いたします。

又、本大会では千人近い生徒達が、リハーサルもなく立派に入場行進し、大会を盛り上げました。来賓や父母に深い感銘を与えましたが、それ以上に自分達の胸にすばらしい思い出をのこした事でしょう。試合の結果は左記の通りでしたが、今大会で特筆される事は各チームの実力が向上し格差が少なくなつたと云う事です。特に一部の上位三チームは技術的にも充実し、順位を決めたのは時の運の感もありましたが、やはり完全優勝を果たした豊東には一日の長を感じました。

又くじ運悪くコートを去った開四、早富、仲町、北町、加えて後発チーム乍ら頑張った大四、大六なども印象に残ったチームでした。二部は、強い上級生チームを持つところが多いがやはりまとまりの良さを見せましたが、全体的に

夏の大会までにアタック力、サーブ力の強化がのぞまれます。それぞれのチームがどんな伸び方をするか大変楽しみです。

それにしても予選、本大会を通じて事故者がなく、運営の面でも完ぺきに近く実行出来ました事は、委員はじめ各指導者、世話人の方々のおかげと心から感謝いたします。(梶 和美)

第六回春の大会成績

一部リーグ

優勝 キングアタッカーズ

(豊東)

準々 ホワイトコンドル(旭丘)

第三位 学園ブラックゴースト

(学園)

二部リーグ

優勝 キングアタッカーズB

(豊東)

準々 プルトファイターズB

(早富)

第三位 若竹ジュニア(小竹)

シルバークイーンジュニア

ア(南田中)

〇特別賞 若竹ファイターズ

(小竹)



<p>ピーシー理化工業 (株)</p> <p>練馬区豊玉北 2 - 4 高野ビル</p> <p>TEL 948-5160</p>	<p>(有) 千 草 屋</p> <p>練馬区桜台 5 - 11 - 1</p> <p>TEL 991-4007</p>	<p>田中硝子建材(有)</p> <p>練馬区北町 3 - 18 - 9</p> <p>TEL 931-0669</p>
--	--	--

昭和六十年、六十一年
区体協役員構成決定

第六回練馬区バレー
ボール選手権大会

会長代行	奥山則男	昭和六十年三月	
副会長	奥田真輔	五日、十二日、二十四日	
理事	榎本松次	区立総合体育館	
副理事長	野口嘉郎	区立桜台体育館	
	寺崎 武	家庭婦人の部	
	松井昭武	A 優勝	すみれクラブ
常任理事(総務)	天野文男	準優勝	NKC
	広瀬 守	三位	なでしこ同好会
	藤井和雄	三位	ひかりクラブ
	高城光枝	B 優勝	芙蓉クラブ
	本間弘一	準優勝	あざみクラブ
	富田秀夫	三位	富士見クラブ
	中沢 明	三位	たかまつクラブ
	長谷川義夫	一般男子の部	
	吉田邦治	優勝	稲高会 A
	森野符公博	準優勝	丸輪会
	安藤幹男	三位	石東クラブ
	横山鉄治		初心者会
	井口鏡曹	一般女子	
	山本 昭	優勝	学園OG
	小島竹二	準優勝	春日クラブ
	牛島社二	三位	区役所クラブ
			アタックシー



◎新加入(仮加盟)
練馬区ゲートボール協会
会長 田中確也

○脱会
練馬区ラジオ体操連盟
昭和六十年年度予算
収入 六、五八八、三〇〇円
支出 六、五八八、三〇〇円
特別会計
一、六五〇、〇〇〇円

練馬っ子が金メダル

イタリアのベルノーで開かれたユニバーシアード冬季大会に日本から五十八名の選手団が送られた中、練馬っ子の小沢樹里選手が只一人金メダルを持ち帰った。

フィギュアスケートの優勝である。私に金メダルを見せに来た時、「どの大会でもプレッシャー感じた事はない」とケロと云っていた。

十一才からスケート始め、中学(上右神井中)に入って本格的にリンク通いが始まった。全国中学生大会で優勝して以来、毎年なんらかのタイトルを手に入れている。

暗いうちに家を出て午前八時まで高田馬場のリンクで練習、そのまま校門をくぐり、放課後は又リンクにもどる日々のくりかえしです。

昭和五十八年、全日本の女王となった。しかし残念なことは、東京での世界選手権大会にエントリーされなかった事です。

日光での全国学生選手権大会で彼女は二位、しかしその時の優勝者がユニバーシアードで十位、彼女は優勝でした。

タイムで順位を決定する種目とちがひ、審判面に微妙な問題があるフィギュア競技だけに気の毒でした。

今後とも彼女の明るい性格と根性に期待をもってゆきたい。

練馬区スケート連盟としても、専大の先輩としての私も声援を今後もおくりつつけてゆきます。

小沢選手の活躍と共に、全国高校選手権のスピード競技に練馬っ子が、北海道、長野勢に互して出場しています。

練馬区から全国の検舞台に出場する選手が輩出することを心から願っています。

小沢樹里選手
練馬区上右神井一ノ三八四ノ六三
専修大学・法学部二年 十九才
身長 一五六cm
体重 四十九kg
主な優勝
昭和五十六年 全国中学生大会 優勝
昭和五十七年 全国高校選手権 優勝
昭和五十八年 全日本選手権 優勝
昭和六十年 ユニバーシアード 優勝
(練馬区スケート連盟 会長 水野啓生)

(有) チカラスポーツ 千代田区富士見 1-3-7 TEL (265) 2773	アルペン山荘 長野県小県郡真田町 菅平 TEL 02687 (4) 2068	木島平スキー場 中井川 二郎 練馬区土支田 2-16-6 TEL 921-6211
---	---	--

無から有への展開とその思考

スターティングフロムゼロ

野口 嘉郎

長期にわたる競技団体の運営執行と組織拡大に身を投じての四十有余年、その経験から自然に身に付いたことは「無から有への展開」にあったと云える。

我々体協も、競技団体も行政のよびに始めからその資金が確立されてはいない。又企業のように販売、製造からの収入のルートはない。

アマスポーツの世界に於てあるものは、競技への強い愛着と卓越した技術と組織をもつその道のスペシャルティの集団なのだ。

我が練馬体協を見る時、ある意味では都内二十三区体協の中で、Aクラスにある。しかし見方によつては、Cクラスの下級にあつても云える。そこでその理由の指摘はさて、今我々がおかれてある環境下でいかにあるべきか、いかに処すべきかを考え、前進してゆかねばならない。

資本金ゼロの中に出発、組織をつくり力の結集を図り、努力と思案と発想により、資金をつくり、スポーツイベントに、お互の研修に、技術の向上にむかう姿勢の継続が宿命なのです。

予算化されたものを使うにも

れなりの努力と同時に結果が問われる。ましてゼロから始まり、資金をつくり之を有効に使用し、大きな成果を上げるには、前者の十倍以上の大変な努力が必要となるでしょう。

私は、昨年世界選手権大会をこの手で開催し、無から有へと展開しこのイベントを成功させた。

今年、初のアジア選手権を日本で開催するため取り組んでいる。これ又、全てゼロからのスタートなのだ。

私の担当する競技は、オリンピック種目でも団体種目でもない。その悪条件下にあつても、やらねばならないのです。メインスポーツに比較してより以上の努力なくしては出来ません。そのためには、十月までに三回のセミナーを企画、四・五回は海外をとりまわなければならぬのです。

人は云つ、暇があるから、金があるから、出来るのだと、しかしその時間をとくるにも、その資金の心配をなすにも、三

十年、四十年間の間、たえず思考をめぐらし努力を重ね、その基礎を又適した家庭を、この仕事を可能とする収入に色々の要素の蓄

積をはかり可能な環境を自らの手でつくってきたのです。アマスポーツ団体の長としての責任を果すためには、自からの環境を維持しなければならぬ。それがために今、新しい会社づくりにも精神的に動いている。又、三つ目の企業顧問への就任もきめた。

万金の背景を持ってこそ、体協や競技団体の仕事が出来ると。しかし、その反面一般の方のように道楽、趣味は考へることは出来ません。仕事を道楽とすることです。

体協の法人化、について云うならば、果してなんの利得があるのか、その意義すら理解しにくいと思う。

しかし、次から次と他区が法人化されている。又その努力を継続しているのを見て、各区市体育協会がその位置づけの重要性を考え真剣に取り組んでいるのです。これだけを見て、法人化の意義を理解してほしい。

時の流れは一日一日と変化し、行政も又変わつてゆく。全国の区市を機会あるごとに見、その推移と変化を身に感じ、その態度考えをせられていく。我々も又、十年前

そのままの姿、前年の踏襲のみで満足してはいけぬ。企画面に、競技技術に、執行内容に、毎年新しい思考を入れ、之を実行する姿勢が求められる。区民が、子供達が何を望んでいるのかを考え、その夢をみだす努力の継続、そのために必要な資金づくり、それを可能とする体制、それが「体協法人化」であり、そのための基金の確保の努力なのです。私は、ゼロの時代から出発し、今日まで、苦しみ、泣き、一歩も退れぬ淵にも立ち、始めて道を開き、人をえて来たのです。

今でこそ、電話一本でスポンサーからの協賛をうつことも可能となった。しかしこれは何もせずして自然にさづかつたものではない。その陰にはち密な神経と日々の努力、友情の輪をもつて結んだ人の出会いをより以上大切に出来たからなのだ。即ち、「無から有への展開を図るための努力の結晶」なのである。この言葉は、人生の全てに通じるものと云えましよう。

「体協の法人化」には勿論のことと我が練馬体協のメインイベントとして育てなければならぬ。光が丘ロードレースにも、体協、スポーツ少年団の手でスタートした、子供の日の行事である「少年少女スポーツフェスティバル」にも全てに通じる言葉だと思

います。少くともその団体を代表する人々には、又その団体の執行部を担当する方々には、この意味をかみしめて、明日への糧として頑張つてほしいと思ひます。

と同時に練馬体協が今おかれて

いる立場、即ち昭和六十三年を目標とし、法人化を達成するまでの数年間は、きつい条件だと思ひます。その後に来る大きな果実を、光明を考え、一糸乱れぬ協力を心からお願ひする次第です。我々は今は亡き、小口政雄会長の体協法人化の遺志をつぎ、我々の手でこの事業を成しとげねばならない。

地区体協は、全国競技団体組織と違いその地区特有なものがあつり、小さいながらもむずかしい問題が多く、スポンサーの確保についても資金確保の方法にも規制される。それを克伏して道を開き、小口会長の靈前に一日も早く、胸をはって報告する日を私は念じてやみません。

東京都練馬区谷原一七五
区体育館内 一六六七
練馬区体育協会

代表 奥山則男
編集者 野口嘉郎
TEL九九五―二八〇五

印刷 旬工芸社
豊島区西池袋三二二一六
松本ビル
TEL九八六一四七九二